

[様式 9-1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	松井ヶ丘保育園	施設種別	保育所 (旧体系 :)
評価機関名	京都府保育協会		

平成 19 年 11 月 29 日

総評	<p>保育現場における子ども達の落ちつきや安定した情緒から伺えるように、保育士の質の高い保育が行なわれています。また、地域においても分園などの設置や育児相談の実施など施設の保育機能の還元により、地域の福祉ニーズにも対応しています。利用者アセスメントも適切に実施されており、それに基づく保育も行なわれています。</p> <p>改善が望まれる点は、保護者ニーズの把握の更なる向上という部分で、個人懇談会の開催の取り組みを期待します。また、保育園の考えに基づき、保育を実施している事は確認できましたので、今後は、法人運営の指針となる法人の理念の明文化を望みます。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ II-4-(1) ② 事業所が有する機能を地域に還元している ・ II-4-(3) ② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。 <p>駅前に分園（乳児）を開設し、忙しく働く親に対し子どもについての情報交換・育児支援を充実させています。また、見学に来られた保護者に対し育児相談を実施しており子育て家庭に対しての相談窓口としての地域に対する活動も行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ III-4-(1) ① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている <p>子どもの身体状況や、生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって把握し記録しています。</p>
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ I-1-(1) ① 理念が明文化されている <p>保育園の考えに基づいた保育を実施されていますので、今後は保育園を実施するうえでの指針となる法人の理念の明文化を望みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ III-1-(2) ① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している <p>乳幼児全員に対して連絡ノートを実施し、保護者の要望の把握に努めていますが、要望を書いてくる保護者が一部に限られている所が見受けられました。保護者ニーズの把握に対する更なる向上として、個別の懇談や保護者アンケートなど、保護者の意向に関する調査を定期的に実施されることを期待します。併せて、それに対する保護者の意向や情報をくみ取り、実際の保育に反映されることを望みます。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9－2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	松井ヶ丘保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成19年11月29日

I 福祉サービスの基本方針と組織

【共通評価基準 評価結果対比シート】

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	B
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 <small>(当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)</small>	A	B
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 <small>(当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)</small>	B	B
		② 計画が職員や利用者に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

【自由記述欄】

- 園としての考え方をもって保育を実施されていることは確認出来ましたので、法人としての理念の明文化を求めます。
- 基本方針が、園のしおりやホームページで利用者へ周知されています。
- 事業計画の骨子はありますが、法人の経営方針を加味した内容のものを作成を求めます。
- 管理者からの指示は、毎朝の職員ミーティングで報告され、職員全員に伝えられています。また、地域の子育てニーズに対応するため駅前分園の設置など園長、主任などが率先して園の運営に取り組んでいる様子が確認出来ました。
- 毎月の全職員による勉強会を実施し、全職員が共通理解を持って、保育サービスを実施していることが会議録等で確認出来ました。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	B
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C	C
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組むが行われている。	A	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
		② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	B	A
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A	A
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	B
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	A	A
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	B	B
		② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A	A

【自由記述欄】

- 待機児童対策として分園開設など、事業経営をとりまく環境を的確に把握しています。
- 人事考課は現在実施していませんが、将来的には導入を予定しています。
- 職員の就業状況に関して、有給の消化率や職員からのヒアリングにより配慮している事が確認出来ました。また職員は共済会に加入しており、福利厚生面の取り組みを実施しています。
- 実習生や特別体験の学生を、積極的に受入れています。
- 利用者の安全を確保するための取り組みは、マニュアル等整備し取り組まれていることが確認出来ました。
- 地域との関わりとして園児学者に対して育児相談を実施し、子育て家庭の支援活動を行っています。今後は、それを含め定期的な活動とそれに対する広報などを実施することを望みます。それにより、一層の地域福祉ニーズに根ざした活動に繋がることだと思います。

III 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目		評価結果	
		自己評価	第三者評価	自己評価	第三者評価
III-1 利用者本位の福祉サービス	III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	B	
	III-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	A	B	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	B	
	III-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	B	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A	
III-2 サービスの質の確保	III-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	B	A	
		② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	A	
		③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	B	A	
	III-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。	① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	B	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	C	B	
		③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	B	A	
	III-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
III-3 サービスの開始・継続	III-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A	
		② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A	A	
	III-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	A	A	
III-4 サービス実施計画の策定	III-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	B	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A	A	
	III-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	C	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	C	A	

【自由記述欄】

- 子ども1人ひとりが、安心して生活できる環境が持てるように、毎朝の職員ミーティングと毎週の幼児・乳児会議、毎月の勉強会を実施し、共通の理解のもと保育サービスを実施されていることが会議録等から確認出来ました。
- プライバシー保護に関してのマニュアルがありますが、書類管理に対して園の実態に沿った場面に応じた内容を、マニュアルや会議等で職員に周知し、よりプライバシー保護に関する職員間での意識を向上されることを望みます。
- 利用者満足の向上については、クラス懇談や保育参観の実施又、連絡ノートも実施されていますが、保護者アンケートや個別での懇談実施など定期的な保護者の意向に関する調査を実施し、それに対する見直し等の結果も可能な限り保護者に公表し相互理解に取り組まれることを望みます。
- 個々の保育場面についての標準的な実施方法が文書化されています。子ども一人ひとりの保育サービスの実施状況の記録が、適切に実施されていることも書類より確認出来ました。
- 利用者アセスメントも適切に実施されており、それに基づいたサービス実施計画を策定し実施しています。
- 保育サービスの実施計画は、指導計画や個別の観察記録等を策定していることが確認出来ました。また、それに対する定期的な評価の見直しも実施しており、関係職員で回覧し周知を行っています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9－2]

【付加基準】 評価結果対比シート

保育所

受診施設名	松井ヶ丘保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	2007年11月29日

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目		評価結果	
		自己評価	第三者評価		
A-1 子どもの発達援助	(1)発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	C	A	
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	A	
	(2)健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A	
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A	
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A	
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当	
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A	
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A	
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A	
		⑧ アレルギー疾患を持つ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A	

【自由記述欄】

- 保育計画は管理者の責任のもと、発達段階に応じたねらいと内容で構成されており適切に策定されています。又、それに基づいた指導計画を作成しており、毎月の会議で評価・見直しを実施しその内容を指導計画に生かしています。
- 登園児や保育中の一人ひとりの健康状態もマニュアルに沿って適切に実施しています。また、毎朝の職員ミーティングで子どもの状態などを報告・確認しており、全職員に周知し対応するようにしています。
- 健康診断の結果は、保護者に伝達しています。また、その内容は、関係職員にミーティング等で周知されており、実際の保育に反映しています。
- アレルギー疾患を持つ子どもに対しての代替食や、給食だよりなどを通じて食育に関する情報発信を行うなど、家庭との連携を実施しています。
- 園で畑を設けており、子ども達が自分達で収穫し、給食などで食べるなどの取り組みを行っています。

【付加基準 評価結果対比シート(保育所)】

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3)保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	B
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	B
	(4)保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	A
		④ 身近な自然や社会とかかわるような取り組みがなされている	B	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	B
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	C	B

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A
		⑫ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑬ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	A
		⑭ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	C	B
		⑮ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑯ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑰ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A
		⑱ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A

【自由記述欄】

■職員は、丁寧に保育をし子どもを受容しようと努めていることが伺えました。また、子どもが自発的に活動できる環境が整備されていましたり、身近な自然や社会と関わる工夫も伺えました。子どもが心地よく過ごす事ができることについても整備されていましたが、各保育室の湿温計の設置や、窓付近の遊具等の配置など、一部安全に配慮することを望みます。

■保育現場や職員のヒアリングから、性差への先入観による固定的な対応をしていない事が確認出来ました。

■乳児保育のための環境が、分園を含め整備されていることが確認出来ました。また、日々の連絡ノートも充実しており、保護者との信頼関係構築に努めていました。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	①一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	B
		②家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共に理解を得るために機会を設けている	A	A
		④虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2)一時保育	①一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当
A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	①調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		②食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	非該当	非該当
		④事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当
		⑤不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当

【自由記述欄】

- 家庭状況の把握や保護者との情報交換は、適切に記録されています。また、懇談会や保護者の保育参加の共通理解の機会を設けていますが、今後は個別の面談を実施し、子ども一人ひとりに対する相談や育児に対する情報交換等のより一層の取り組みを希望します。
- 調理場・水まわりの衛生管理、食中毒及び事故防止についてのマニュアルとチェックリストがあり、それらが職員に周知徹底されている様子が伺えました。
- 虐待に関して、早期発見に努め関係機関との連携も行っています。